

森林（もり）づくりと木づかいのお便り

平成20年8月20日 第34号

CONTENTS

1 コラム

【1】『百日紅』（特用林産対策室長）

2 施策紹介

【1】平成19年の特用林産物の生産動向

3 当庁の動き

【1】林政審議会施策部会の概要について

【2】「森林に関する国際的な議論の動向」報告会の概要について

【3】平成20年岩手・宮城内陸地震により発生した大規模な山腹崩壊等における直轄治山災害関連緊急事業等の実施について

【4】平成19年度松くい虫被害について

4 森林（もり）づくりと木づかいに関する情報

美しい森林づくりニュース

森林ボランティア活動情報

イベント情報

【1】2008 全日本山岳写真展

お知らせ

【1】おかしの森

「おかしの森」イメージ画コンテスト作品大募集！

編集後記

ご意見をお寄せ下さい。

1 コラム

【1】『百日紅』（特用林産対策室長）

今回は、森川特用林産対策室長より『百日紅』と題して自然を感じる柔らかな感性についてお話しします。

うだるような暑さの中歩いていると、ふと目についた百日紅（さるすべり）の花、青い空を背景に紅が鮮やかです。

さるすべりをみたらば / たくさんに / いい花がさきみだれていた / 紅くて / そっとわたしの肩をたたくようなきがした (八木重吉)

何気ない風景や自然の息吹に心を動かされることがあります。そんな柔らかな感性を大切にしたいと思います。

林野庁の仕事は、林業・木材産業・特用林産物といった業や山村振興、国土保全、環境、それに国有林という現場も抱えて多岐にわたっていますが、すべてが森林をどう扱うかという問題に帰結すると言えます。行政の仕事は対象を全体像として捉え、データで判断しがちですが、一方では、あの時歩いた森の姿やあの時話を聞いた人たちの笑顔を思い浮かべるといったように、個々の事象にも心をくたくとも必要と思います。特に、森林を相手にしている私たちは、現場を離れていても、自然の息吹を敏感に感じ取る感性は持ち続けたいと思います。近頃、感動から少し遠ざかっている私ですが、自戒の念を込めて。

2 施策紹介

【1】平成19年の特用林産物の生産動向

林野庁は平成19年の特用林産物の生産動向を取りまとめ、公表しました。

特用林産物の大半を占めるきのこ類の生産量は、全体としては増加傾向ですが、品目により違いが見られます。乾しいたけは天候不順により前年に比べて減少し、生しいたけはわずかながら増加しました。またえのきたけ、ブナシメジ、エリンギは引き続き増加しています。まつたけは不作となり減少しました。

平成19年の特用林産物の総生産額は2,899億円で、前年比98.0%となりました。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/tokuyou/080806.html>

3 当庁の動き

【1】林政審議会施策部会の概要について

平成20年度森林・林業白書の検討に当たって、取り上げるべき事項や今後、求められる施策について意見交換が行われたので、お知らせします。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kikaku/080725.html>

【2】「森林に関する国際的な議論の動向」報告会の概要について

G8 洞爺湖サミット、主要経済国会合での森林関連の議論、G8 洞爺湖サミットの運営における木材利用について、気候変動枠組条約特別作業部会等での REDD の議論、国際熱帯木材機関「気候変動と熱帯雨林の持続可能な運営に関する国際専門家会議」について、「G8 森林専門家違法伐採報告書」及び「Go ho-wood 円卓会議」での違法伐採対策の議論についての報告と、質疑応答や意見交換が行われたのでお知らせします。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kaigai/080729.html>

【3】平成 20 年岩手・宮城内陸地震により発生した大規模な山腹崩壊等における直轄治山災害関連緊急事業等の実施について

平成 20 年岩手・宮城内陸地震により、大規模な山腹崩壊や地すべり、土石流が発生した地区において、直轄治山災害関連緊急事業及び災害関連緊急治山事業（民有林治山関係） 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業（国有林治山関係）として、事業費約 1,501 百万円により確定しましたので、お知らせします。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/saigai/080812.html>

【4】平成 19 年度松くい虫被害について

林野庁は平成 19 年度の松くい虫被害について取りまとめ、公表しました。

平成 19 年度の全国の松くい虫被害量は、前年度と比較して約 2 万立方メートル減の約 62 万平方メートルとなり、平成 15 年連続で減少しました。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/hogo/080812.html>

その他のプレスリリースはこちら

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/index.html>

4 森林（もり）づくりと木づかいに関する情報

美しい森林づくりニュース

地球温暖化の防止への貢献や次の世代に美しいみどりを伝えていくため、「伝えたい木の文化、残したい美しい森」をキャッチフレーズに「美しい森林（もり）づくり推進国民運動」が始まっています。

この運動の展開状況についてお知らせすることにより、この運動を多くの

国民の皆様にご理解、ご賛同いただくために「美しい森林づくりニュース」を発行しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/utsukushiimoridukuri/news.html>

森林ボランティア活動情報

全国各地でボランティアによる森林づくり活動が活発に行われています。(社)国土緑化推進機構では、誰でも参加できる全国各地の森林ボランティア活動の情報を発信しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.green.or.jp/volun/info/katsudou.asp>

イベント情報

【1】2008 全日本山岳写真展

全日本山岳写真協会は、自然の美しさ、尊さを多数の観衆にアピールし、山岳・風景写真の文化普及と自然を守る警鐘とすることを目的として、毎年、協会会員の作品と全国の小中高生、及び一般の山岳写真愛好家の作品を一同に展示しています。

開催日 平成 20 年 9 月 2 日 (火) ~ 9 月 7 日 (日)

場 所 東京芸術劇場 5 階展示ギャラリー

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://homepage3.nifty.com/sanryo-izanai/exhibition.html>

お知らせ

【1】おかし森

「おかし森」イメージ画コンテスト作品大募集!

「おかし森」とは長野県小海町八ヶ岳山麓の美しい森を舞台に、子供達が楽しみながら体験できる森林作りや環境学習に活かしていくものです。8月1日~9月5日まで、「おかし森」のイメージを絵にした作品の募集が行われています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.n-gec.org/>

編集後記

残暑の厳しい日が続いていますが、いかがお過ごしですか。8月も後半に入り、暦の上では立秋を過ぎました。しかし、この暑さは、まだまだ続きそうです。この時期、私はよく子供の頃を思い出します。それは、甲子園を見ながら、夏休みの宿題を頑張っていた時の事です。今年も暑さに負けず、元気に夏を乗り切りたいです。

ご意見をお寄せ下さい。

御意見、御要望、又は転載を希望される場合は、下記編集発行先にメールにてお寄せください。

ご注意

メールマガジンに掲載したURLで、一部PDF形式のものがあります。PDFファイルをご覧いただくためには林野庁ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/index.html> をご覧になり、「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。

編集発行

〒100-8952 東京都千代田区霞が関1-2-1
林野庁 広報室
TEL 03-3502-8026
E-mail : https://www.voice.maff.go.jp/maff-interactive/people/ShowWebFormAction.do?FORM_NO=82

メールマガジンのバックナンバーや配信停止の手続及びメールアドレスなどの会員情報の変更は下記サイトで手続をお願いいたします。
パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をしてください。

バックナンバーは、こちらからご覧ください。
<http://www.rinya.maff.go.jp/mailmagazine/mail.html>

メールアドレス等の変更

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/chg.html>

変更には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

メールマガジンの配信停止

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/can.html>

配信停止の際には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

パスワード再発行

万一パスワードをお忘れの場合は下記より御登録いただいたメールアドレスを入力して、パスワードの再発行をしてください。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>